

みんなでやらいや！

～まちづくり活動報告（第8回）～

旧・高麗保育所の活用



▲要望書を提出するまちづくり高麗地区会議谷野会長、高麗分館池嶋館長、高麗地区区長会森田会長

旧高麗保育所の活用を検討していた「まちづくり高麗地区会議」が計画書をまとめ、7月26日（木）に森田増範町長に提出しました。計画書の概要は左記のとおりですが、気軽に集える「サロン」づくり、高齢者の健康づくりや福祉活動、放課後に子どもが集える場づくり、防災拠点など将来的には高麗地区の「まちづくり活動の拠点」とすることが構想されています。

まちづくり高麗地区会議が要望書・計画書提出

これに対して、森田町長からは、「まちづくり委員さんが熱心に討議を重ね、計画を取りまとめられたことへの感謝」や「地区住民が主体となったまちづくりへの期待」が述べられました。また、「気軽に集える場」づくりのために、今年度、「暫定的」に旧高麗保育所を活用することを了承するとともに、来

年度以降の本格的活用に向けて、住民自治組織の設立や保育所活用の具体的構想をまとめていただきたい等の回答がありました。特に、まちづくりに「継続的」に取り組む「住民自治組織」の設立に大きな期待が寄せられました。

計画書の概要

1. 当面の活用計画

- ・囲碁、将棋などの対局の場、スポーツ観戦の場、マンガなどの蔵書などを備え、子どもから高齢者まで高麗地区住民が気軽に集い、楽しく過ごせる場とする。当面は週3日程度開館する。
- ・地区住民による「運営委員」による「運営委員会」により管理・運営を担う。

2. 将来的な活用構想

- ・「まちづくり活動の拠点」となるよう取組を発展させる。
(具体案)
- ・季節やテーマに応じたイベントを開催する。
- ・健康体操の実施など高齢者の健康づくり、相談事業、実技指導など介護の支え手への支援、交流など福祉面での支え合いを実践する。
- ・学校帰りなどに子どもが立ち寄り、宿題をしたり、遊びなどができる。
- ・非常用食糧、毛布などを備蓄するなど地区の防災拠点とする。

3. 住民自治組織の設立

- ・旧高麗保育所を住民の手により自主的かつ持続的に管理・運営できる「住民自治組織」を設立する。分野を問わず高麗地区でまちづくりに取り組む多様な主体・団体の参画を得るとともに、公民館機能がより充実したものになるよう公民館との連携が図れる組織とする。